

『一般社団法人 日本透析医学会専門医制度規則施行細則の一部改正 新旧対照表』

現 行	改 正
<p>専門医・指導医の初回認定・更新における認定基準</p> <p>【業績】取得単位をもって業績評価とする。 取得単位は1. 学会参加 2. 学会発表 3. 論文 4. セルフトレーニング問題正答 5. e-ラーニング問題正答から構成される。 専門医、指導医の初回認定および更新において必須基準をみたし、かつ規定単位数の取得をもって業績の条件とする。</p> <p>1. 学会参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本学会の年次学術集会参加は必須であり、回数については専門医、指導医の初回認定および更新において必須基準が異なる。 ・その他下記【学会参加および学会発表として認められる学術集会等】に定める学会の参加を単位として認める。 ・同一学術集會会期中において開催される生涯教育プログラムを複数受講しても5単位とする。 <p>2. 学会発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下記の単位を、出席単位に追加して取得を認める。 筆 頭 者……………各学会出席単位の2倍 共同発表……………各学会出席単位の1/2 ・教育講演、シンポジウム、パネルディスカッション、ワークショップなどを含む。 ・指導医については地方学術集会での発表は1回のみを認める。 ・専門医・指導医の初回認定における発表学会は下記【学会参加および学会発表として認める学術集会等】に掲載された学会に限る。 ・本学会の年次学術集会以外の学会、研究会における発表は、透析患者に関する発表に限る（下記、【学会発表・論文に関する注意点】参照）。 <p>3. 論文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以下のものを論文業績と認め、以下の単位取得を認める。 ・本学会誌に発表した原著、症例報告、総説 筆頭著者……………20単位 <p>本学会誌とは、日本透析医学会雑誌、Renal Replacement Therapy, Therapeutic Apheresis and Dialysis（なお、Therapeutic Apheresis and Dialysis誌は、2021年12月末までに発行されたものに限る）を指す。</p>	<p>専門医・指導医の初回認定・更新における認定基準</p> <p>【業績】取得単位をもって業績評価とする。 取得単位は1. 学会参加 2. 学会発表 3. 論文 4. セルフトレーニング問題正答 5. e-ラーニング問題正答から構成される。 専門医、指導医の初回認定および更新において必須基準をみたし、かつ規定単位数の取得をもって業績の条件とする。</p> <p>1. 学会参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本学会の年次学術集会参加は必須であり、回数については専門医、指導医の初回認定および更新において必須基準が異なる。 ・その他下記【学会参加および学会発表として認められる学術集会等】に定める学会の参加を単位として認める。 ・同一学術集會会期中において開催される生涯教育プログラムを複数受講しても5単位とする。 <p>2. 学会発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下記の単位を、出席単位に追加して取得を認める。 筆 頭 者……………各学会出席単位の2倍 共同発表……………各学会出席単位の1/2 ・教育講演、シンポジウム、パネルディスカッション、ワークショップなど抄録のあるものとする。 ・指導医については地方学術集会での発表は1回のみを認める。 ・専門医・指導医の初回認定における発表学会は下記【学会参加および学会発表として認める学術集会等】に掲載された学会に限る。 ・本学会の年次学術集会以外の学会、研究会における発表は、維持透析患者に関する発表に限る（下記、【学会発表・論文に関する注意点】参照）。 <p>3. 論文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以下のものを論文業績と認め、以下の単位取得を認める。 ・本学会誌に発表した原著、症例報告、総説 筆頭著者……………20単位 共同著者……………2単位 <p>本学会誌とは、日本透析医学会雑誌、Renal Replacement Therapy, Therapeutic Apheresis and Dialysis（なお、Therapeutic Apheresis and Dialysis誌は、2021年12月末までに発行されたものに限る）を指す。</p>

現 行	改 正
<ul style="list-style-type: none"> ・その他の雑誌の原著，症例報告（透析患者に関する論文に限る．下記，【学会発表・論文に関する注意点】参照．また総説・解説は認めない） 筆頭著者……………5 単位 共同著者……………1 単位 その他の雑誌とは以下のいずれかの条件を満たす雑誌とする．なお，院内誌や製薬メーカー誌は認めない． ①編集委員会にレフェリー制度があるもの． ②学会の proceeding ③大学病院で発行されたもの． ・資格認定・更新の申請締め切り日までに，発行あるいは受理（アクセプト）されていること． 4. セルフトレーニング問題正答 <ul style="list-style-type: none"> ・専門医，指導医更新の際必須であり，5 単位取得できる． ・毎年，取得単位として認める． 5. e-ラーニング問題正答 <ul style="list-style-type: none"> ・1 単位取得できる．ただし，「教育講演（60 分間講演）」を 1 回または「教育講演（30 分講演）」を 2 コマ連続で 1 回視聴し正答すること． ・e-ラーニング視聴による年間認定単位数上限は 5 単位とする．（e-ラーニングによる単位は，同年の年次学術集会期間中の教育講演で単位を取得していない者のみが取得できる．） ・専門医・指導医の更新において，認定期間 5 年間のうち e-ラーニングおよび生涯教育プログラムの受講により認定される取得単位数の上限は 25 単位とする． <p>【学会発表・論文に関する注意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本学会の年次学術集会における学会発表，本学会誌における論文はいずれも業績として認める． ・それ以外の学会発表，論文は，透析に関する発表に限る．以下に業績として認める学会発表・論文の要点を示すが，この点は，これまでたびたび議論されたので，提出の際，留意されたい． <ul style="list-style-type: none"> ➢ 維持透析患者を対象としたもの． ➢ 維持透析の導入に関するもの． ➢ 維持透析の透析アクセスに関するもの． ➢ 維持透析患者に対する腎移植に関するもの． <p style="text-align: center;">以下省略</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・その他の雑誌の原著，症例報告（維持透析患者に関する論文に限る．下記，【学会発表・論文に関する注意点】参照．また総説・解説は認めない） 筆頭著者……………5 単位 共同著者……………1 単位 その他の雑誌とは以下のいずれかの条件を満たす雑誌とする．なお，院内誌や製薬メーカー誌は認めない． ①編集委員会にレフェリー制度があるもの． ②学会の proceeding ③大学病院で発行されたもの． ・資格認定・更新の申請締め切り日までに，発行あるいは受理（アクセプト）されていること． 4. セルフトレーニング問題正答 <ul style="list-style-type: none"> ・専門医，指導医更新の際必須であり，5 単位取得できる． ・毎年，取得単位として認める． 5. e-ラーニング問題正答 <ul style="list-style-type: none"> ・1 単位取得できる．ただし，「教育講演（60 分間講演）」を 1 回または「教育講演（30 分講演）」を 2 コマ連続で 1 回視聴し正答すること． ・e-ラーニング視聴による年間認定単位数上限は 5 単位とする．（e-ラーニングによる単位は，同年の年次学術集会期間中の教育講演で単位を取得していない者のみが取得できる．） ・専門医・指導医の更新において，認定期間 5 年間のうち e-ラーニングおよび生涯教育プログラムの受講により認定される取得単位数の上限は 25 単位とする． <p>【学会発表・論文に関する注意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本学会の年次学術集会における学会発表，本学会誌における論文はいずれも業績として認める． ・それ以外の学会発表，論文は，維持透析患者に関するものに限る．以下に業績として認める学会発表・論文の要点を示すが，この点は，これまでたびたび議論されたので，提出の際，留意されたい． <ul style="list-style-type: none"> ➢ 維持透析患者を対象としたもの． ➢ 維持透析の導入に関するもの． ➢ 維持透析の透析アクセスに関するもの． ➢ 維持透析患者に対する腎移植に関するもの． <p style="text-align: center;">以下省略</p>